

小説の学習とは

書いていないものを読み取る。

「構造」「象徴」「テーマ」

単元目標

小説「羅生門」の構造を説明できる。

わからない語を主体的に辞書で引くことができる。

羅生門の初期設定

○下人の境遇を押さえる（下人はどういうキャラ設定？）

【年齢】 13歳？ 20歳？ 30歳？ 40歳？

【性別】 【職業】 【身分】 【性格】 【生活】 【家族】 【服装】 【装備】 【戦闘力？】

下人…… 【職業】 身分の低いもの。主人に仕えているもの。使用人。

男…… 【性別】 男

そこで、日の目が見えなくなると、誰でも気味を悪がって、この門の近所へは足踏みをしないことになってしまった…… 【性格】 下人は平気に訪れることができる。豪胆

紺の襖…… 【服装】 しつかりした服装 ぼろぼろでは無い まだまともな生活はしてい

た

大きなにきび…… 【年齢】 若い

5 その主人からは、四、五日前に暇を出された…… 【職業】 無職 失業 【年齢】 若いか
ら真っ先にクビにされる。

永年、使われていた…… 【職業】 4～5年？ 5～6年？ 12歳頃から使われていたとな
ると、今は17～19歳？

行き所がなくて…… 【家族】 賴れる家族はいない。

Sentimentalisme…… 【性格】 【年齢】 若さゆえの無力感

いわばどうにもならないことを、どうにかしようとして…… 【生活】 【職業】 どうにも
ならない→仕事を得ようにも得られない。食べ物を手に入れる手段が無い。貧窮している。

7 下人は、手段を選ばないということを肯定しながらも、この「すれば」のかたをつける
ために、当然、そのあとに来るべき「盗人になるよりほかにしかたがない。」ということ
を、積極的に肯定するだけの、勇気が出ずいたのである。…… 【性格】 モラルがある。
簡単に悪いことを犯せない。

8 山吹の汗衫に重ねた、紺の襖…… 【服装】 結構いいものを着ている→職があつた時は、
まともな服装だった。まともな職業についていた。

9 聖柄の太刀・わら草履…… 【職業】 【装備】 【戦闘力】 もと武士？ 単なる庶民、しかも
貧しいものは裸足だった。

